土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調　査　名　一般国道　１８４号外　道路施設等維持に伴う測量地質設計業務委託

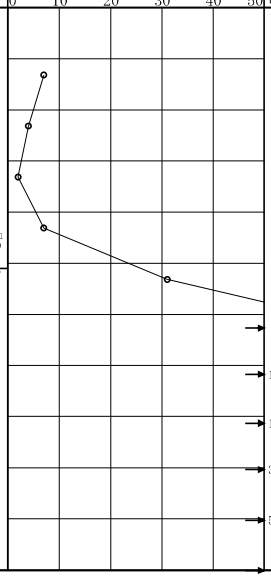
事業名 または 工事名　一般国道　１８４号外

調査目的及び調査対象　道路 構造物基礎

ボーリング名	No.1	**調査位置**	尾道市御調町貝ケ原字中吹149番 地先（国道486号道路肩）			**北緯**	34° 31′ 7.95″
発注機関	広島県東部建設事務所三原支所			**調査期間**	2020年 1月 18日 ～ 2020年 1月 21日	**東経**	133° 09′ 22.81″
調査業者名		**主任技師**		**現場代理人**		**コア鑑定者**	**ボーリング責任者**
孔口標高	KBM 99.81m	**角度**	180° 上 90° 下 0° 0°	**方位**	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	**地盤勾配**	水平0° 鉛直 90° 0°
総削孔長	11.00m					**使用機種**	**試錐機** 東邦地下工機D-1
							エンジン ヤンマーディーゼルNFD-12　**ポンプ** 東邦地下工機BG-3

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	地質時代名	記事	孔内水位／測定月日
1 2 3 4	95.21	4.60		砂・砂質土		暗褐灰～淡褐灰	非常に緩い～緩い			提体の盛り土 GL-0.10mは表土にて、有機物混じる。 砂は、微細砂～中砂。 比較的、均一な砂である。 φ2～50mmの亜角礫を含む。 GL-3.70～4.00m間は、礫混じり土を呈する。	
5 6 7	92.21	7.60		転石・玉石混り砂礫		暗灰～暗褐灰	密な～非常に密な			マトリックスは、細砂～粗砂で少量の細粒分を含む。 礫は、φ2～70mmの亜角礫、亜円礫で、花崗岩のクサリ礫を含む。 GL-4.5、7.2、7.6mからは、転石が混じる。 GL-7.0m付近より、崖錐堆積物となる。	01/21 5.10
8 9	89.81	10.00		花崗岩		淡褐灰				風化花崗岩。 コアは、砂状にて採取され、指圧にて容易に崩れる。 岩級は、DHである。	
10	88.81	11.00		花崗岩		淡褐灰				風化花崗岩。 コアは、岩片状にて採取される。 全体に、硬質である。 岩級は、CLである。	

標準貫入試験



深度 (m)	N値	100mmごとの打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
1.15	7	3	2	2	7/300		
1.45							
2.15	4	1	2	1	4/300		
2.45							
3.15	2	1/200	1		2/300		
3.45							
4.15	7	3	2	2	7/300		
4.45							
5.15	31	14	9	8	31/300		
5.45							
6.15	71	19	21	10/10	50/210	210	
6.36							
7.10	125	31	19/20		50/120	120	
7.22							
8.05	115	36	14/30		50/130	130	
8.18							
9.00	375	50/40			50/40	40	
9.04							
10.00	500	50/30			50/30	30	
10.03							
11.00		貫入不能			50/0		
11.00							

試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	原位置試験	削孔月日
					1/20
					1/21